

4月5日

2010年
(平成22年)
月曜日
第17096号(日刊)
土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

鉄鋼新聞

引抜管能力を大幅増強

日系自動車向け好調

旭鋼管の 中国合弁

大手引抜鋼管メーカー

旭鋼管工業(本社・

埼玉県草加市、社長・

若林毅氏)の中国にお

ける引抜鋼管合弁会社

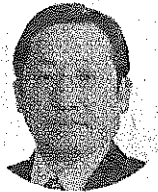
「広州盛旭汽車配件有

限公司」(本社・広州

市花都区、略称・GA

NMA)は、今年末ま

でをめぐりに伸管、加工



社長 若林 毅

設備を大幅に増強する。生産能力を現在の5割増にあたる月産600ト体制に移行。工場に進出している日系自動車メーカーの旺盛な需要に対応する。

GANMAは、旭鋼管工業50%、新日本製鉄と三井物産が各20%、三井物産(香港)有限公司10%の出資で

06年6月に営業生産を開始した。主に、自動車の変速機やディスクブレーキ、パワーステアリング系統の基幹部品用鋼管を製造している。

中国国内の旺盛な自動車生産需要に支えられて、昨年秋季から単月黒字に転換。足元の生産も、ほぼ能力一杯の月産400ト前後で推移している。今後、今年末までには月産ベースで400ト以

上の状況が見込まれ、当面旺盛な需要が続く」と見ており、設備増強を急ぐ。

約2万平方メートルある既存敷地内に1500平方メートルの建屋を増築。伸管機(ドロベンチ)と矯正機、切断機までの一貫ラインを1基導入する。その他、オフラインの矯正・切断機、面取機など新設する。伸管機は3基体制となり、今年末までに月産ベースで引抜鋼管生

産600ト、切断加工120万本体制をめざす。